

ママ達に聞きました!



ベビーマグや水筒の管理方法
購入時に気を付けること

抱っこ紐・チャイルドシート
購入時に気を付けること



ベビーマグ



消毒は、煮沸、電子レンジ、薬剤 etc 様々な方法に対応しているものが便利。

洗いやすいものが良い。 →パーツは少ない方が良い。

ストローやパッキン等だけでも買い替えられるものが便利。

小さな子どもが握りやすく、一人で持てるように軽重視。
→落としたり、投げたりすることがある。

安いものでも OK。

早くコップデビューさせた方があとから楽。

成長に合わせて段階的にスパウトやストローを変えられるものは便利。

子どもの好きなキャラクターにしてあげると興味を持って、抵抗なく飲んでくれた。

少し大きくなってくると、360度どこから吸っても飲めて、
倒しても中身がこぼれないものが便利だった。コップ飲みの練習にもなる。

カバンに入れたり、逆さまにしたり、振ったりしても漏れてこないものが良い。



E社

安定感があるE社のものは、大きい子でも安心。
腰ベルトに支えのクッションが付いていて、腰の負担が軽減されて良い。
口元に当たるベルト部分は、ベルトカバーを付けるのがオススメ。
ただし、大きくて持ち運びはかさ張るのが難点。



抱っこ紐



B社

前抱っこからおんぶに替えるときに、隙間から滑り落ちる心配なし。
外すときは簡単で、抱っこで寝た時に下ろすのが楽。
コートを着ている時、脱がなくても抱っこしたり下ろしたりできるので楽。
欠点は、装着時に止める箇所が多く、腰ベルトがない。
こちらも大きく、持ち運びの際はかさ張ります。

メッシュ素材だと蒸れなくて良い。洗濯してもすぐ乾く。

腰ベルトがない物を、二人目妊娠中は使っていました。

昔ながらのバテン紐。通して縛るだけだから楽チン。使いやすい。

大きくなると、ヒップシート付は楽。

軽くて小さくたためるものは、ちょっとしたお出かけに最適。

購入は産後でも十分。



ママ達に聞きました!

長く使えるように4歳まで使えるものを購入。
→途中でジュニアシートに替える方が多いので、そこを視野に入れて購入すると良い。

回転式は便利だった。重い子は尚更。

長時間移動することが多い場合、ベッド型に変形できるタイプがオススメです。
おむつ替えもしやすい。



チャイルドシート



カバーが取り外し可能でまるごと洗えるものは衛生的。

取り付けが簡単なものは、別の車に乗せ換えるのが楽。



総評

抱っこ紐・・・

全体的に、肩や腰が楽なものが良いという方が多い。
ただ、たたんでも大きく持ち運びに不便なので、いくつかの抱っこ紐を使い分ける方もいる。産後でも間に合います!
自分の体に合ったもの、装着のしやすさ、抱っこしたり下ろしたりのしやすさ等、体感してから購入すると良い。

チャイルドシート・・・

回転式は便利だという意見が結構多かった。
ただ、スライドドアなのかそうでないのか等、回転式が必ず便利かどうかは自分の車にもよる。
長距離移動が多いならベッドタイプに出来るもの、頻繁に乗せ替えることがあるなら取り外しが簡単なもの等、ライフスタイルを考えた選択も必要。

